

マタイ受難曲 BWV244 歌 詞

第1部 1～29曲

合唱 ベタニアで香油を注がれる
イエスを殺す計画 最後の晚餐

合唱

1. 来たれ娘たちよ 合唱

来たれ娘たちよともに嘆け。
見よ、小羊のような花婿を。
見よ-誰を?-花婿を、見よ-どんな?-小羊のような。
見よ-なにを?-彼の忍耐を、見よ-どこを?-われらの罪を、
見よ-愛と慈しみの故に自ら十字架を背負う姿を!
コラール合唱
-おお、罪なき神の小羊よ みがわりに十字架にかけられた。
辱められても、いつも耐え忍ばれ、すべての罪を負われた。
そうでなければ、わたしたちの望みは失せただろう。
主よ、あわれみたまえ。

2. イエスを殺す計画 2～4b

2. イエスはこれらのことを語ったのち 朗唱

イエスはこれらのことを語ったのち、弟子たちに言われた。
「あなた方も知っているように、二日後は過越祭である。人の子は十字架につけられるため、引き渡される。」

3. 心から愛するイエスよ コラール

心から愛するイエスよ
あなたがどんな悪事をなしたのでしょうか。
こんなにひどい判決をうけるとは、どんな罪なのか。

4a-e そのころ、祭司長たちや律法学者 朗唱・合唱

a そのころ、祭司長たちや律法学者は、また民の長老たちはカイファの屋敷に集まり、イエスを殺そうと相談した。彼らは言った。朗唱

b 「民衆が騒ぐといけなから、祭りの間はやめておこう。」 合唱

-3- ベタニアで香油を注がれる 4c～8

c イエスがベタニアで らい病のシモンの家に行ったとき、ある女が香油の壺をもって近寄り、頭に注ぎかけた。弟子たちはこれを見て怒り言った。朗唱

d 「なぜ無駄づかいをするのか。この香油を高く売れば、貧しい人々を救えたのに」 合唱

e これを聞くとイエスは言われた。「なぜ困らせる。彼女はよいことをした。貧しい人はいつもいるが、わたしはいつまでもいない。彼女は私を葬る準備をしてくれたのだ。言うておくと、この福音が宣べ伝えられるところではこの人がしたことも語り伝えられる。」 朗唱

5. 愛する主よ 朗唱・アルト

愛する主よあなたに香油を注ぐ女を止めても、
私の目からあふれる涙を
あなたの頭に注ぐことをおゆるしくください。

6. 悔いと後悔は アリア・アルト

悔いと後悔は心を引き裂く、罪の思いを引き裂く。
わたしの涙のしずくはこちよい香油となり、イエスのまこととにささげます。

7. イスカリオテのユダという弟子が 朗唱

イスカリオテのユダという弟子が祭司長のもとに来て言った。
「引き渡せばいくらくれますか。」
「銀貨30枚払おう」。ユダはその時を狙っていた。

8. 血を流せ アリア・ソプラノ

血を流せ、愛するお方よ血をながせ。
あああなたが育てた子が
あなたの乳房で育った子が
その親を殺そうとする蛇となっているのです。

3. 最後の晚餐 9～13

9a-e 祭りの日の一日目に 朗唱・合唱

a 祭りの日の一日目に弟子たちがイエスのもとに来て言った。朗唱

b 「どこに過越の食事の準備をしましょう。」 合唱

c イエスはいわれた。「都のあの人にこう言いなさい。私の時が近づいた。お宅で過越しの食事をしよう。」弟子たちはイエスが言ったようにして、食事の準備をした。夕方になるとイエスは12弟子と食事をし、言われた。「あなたがたに言う。一人が裏切ろうとしている。」朗唱

d 弟子たちは心を痛めかわりがわりに言い始めた。朗唱

e 「主よ私ですか？」 合唱

10. それは私です。コラール

それは私です。両手と両足まで地獄につながれて
縄と鞭を耐え忍ばれた苦痛を受けるべきは私です。

11. イエスは答えて言った 朗唱

イエスは答えて言った。

「わたしと食べているものの一人が私を裏切る。人の子は去っていく。だが、裏切るその者は不幸だ。生まれなかった方がよかった。」

裏切ろうとしていたユダが言った。「私がですか」

答えて言った。「そのとおり」。

食事をしていると、イエスはパンをとり、祈って言われた。

「とって食べなさい。これは私のからだ」

また杯をとり、祈り、言われた。

「この杯から飲みなさい。これは多くの人の罪が赦されるために流される契約の血。言うておくと、父の国であなた方と共に飲む日までは、私はブドウの実から造ったものは決して飲むことはない。」

12. イエスがこの世に別れを告げられた アリア・ソプラノ

イエスがこの世に別れを告げられたので

わたしは涙に暮れているのですが、

イエスのからだに血と 尊いものを残してくださった。

世にある間弟子たちを愛し、いつくしんでくださり、

世の終わりまで愛してください。

13 わが心をささげます アリア・ソプラノ
わが心を、 救い主よ、 あなたにささげます。
わたしはあなたに委ねます。 主よわたしに宿りたまえ、
わが心をささげます。 あなたにすぐるものはない。
この世は小さすぎます。
そお、 あなたは天より地より偉大な方

オリブ山にて 14-17
14 彼らは讚美を歌い 朗唱
彼らは讚美を歌い オリブ山へ出かけた。
イエスは言われた。「今夜あなた方は私につまずく。
書いてあるように 私は羊飼いを打つ。羊たちは散ってしまう。
私は復活したあと先にガリラヤに行く。」

15 私を認め守ってください コラール
私を認め守ってください。
よいものを生み出すあなたから、
ミルクと甘い食べ物で元気を与え
御国の喜びを聖霊はくださった。

16 ペトロは答えて言った 朗唱
ペトロは答えて言った。
みんながあなたにつまずいても私は決してつまずきません。
イエスは言った。
「あなたがたに言う。今夜、 にわとりが鳴く前に
三度否むであろう。」
ペトロは言った。
「あなたと一緒に死んだとしても、 けっして否みません。」
弟子たちも同じことを言った。

17 わたしはみもとにとどまります コラール
わたしはみもとにとどまります。
あなたの胸が突き破られても 息絶えるときも離れずに
この腕にしっかりと抱きかかえましょう。

18 イエスは弟子たちと 朗唱
イエスは弟子たちとゲッセマネというところに来て、 こう言
われた。
「向こうにいる間ここにすわっていないさい。」
ペトロとゼベダイの子をつれて行った。その時苦しみもだえ
はじめた。 彼らに言われた。
「私は死ぬほどに悲しい。 目をさましてほしい。」

19 痛ましい、心が震えている。 朗唱 とコラール
痛ましい、心が震えている。 御顔が青ざめている。
「なにが彼を苦しめているのか。」
慰めも、 助けもない裁きの座に引き出した。
「わたしの罪が彼を打ったのです。」
地獄の責め苦を受け、 身代わりの償いをした。
「イエスはわたしが招いた罪を耐えておられるのです。」
ああ私の愛があなたの苦しみをやわらげることができるなら
ば喜んでわたしはここにとどまりましょう。

20 あなたのもとで目覚めていよう テノール、合唱
あなたのもので目覚めていよう
「わたしたちの罪は眠りにつく」
イエスよあなたのもので
「わたしたちの罪は眠りにつく」
喜びを満たす
「イエスの尊いみ苦しきは苦しくとも甘美なものです。」
それゆえ、 イエスのみ苦しきは尊いものです。
イエスのそばで目覚めていよう。
「わたしたちの罪は眠りにつく。」

21 そして進んで行き 朗唱
そして進んで行き、 ひれ伏し祈り、 言われた。
「父よ、 この杯をとりのぞいてください。
願いのままでなく、 み心のままに」

22 救い主は父のもとに伏し 朗唱
救い主は父のもとに伏し
こうして主は私とすべての人を
神の高みへと引き上げたもう。
主は、 苦しみの杯を飲む覚悟でおられる。
そこで悪臭を放つ罪が消し去られる。
それは神のみこころです。

23 喜んで十字架と杯を飲もう アリア・バス
救い主に倣い、 喜んで十字架と杯を受けよう。
彼の口にはミルクとはちみつがあふれ、
すべての苦しみと屈辱を杯は甘くしてくれる。

24 弟子たちにのところに来てみると 朗唱
そして、 弟子たちにのところに来てみると眠っていたので、
言われた。
「目をさましておれなかったのか、 誘惑に負けないように、
目を覚ましていなさい。 心は燃えていても肉体は弱い。」
また向こうに行って祈りいわれた。
「父よ、 わたしが飲まないこの杯が過ぎ去らないならば、
御心をなしたまえ。」

25 御心がいつもなされますように コラール
御心がいつもなされますように、
御心こそよけれ 信じる人を助ける。
苦しみから助け、 こらしめるときも、
神を頼り信じる人を神は見捨てない。

26 戻ってくると、また眠っていた 朗唱
戻ってくると、また眠っていた。ひどく眠ったのである。
イエスはまた向こうへ行つて
三度目も同じことばで祈られた。
弟子たちのもとに戻って言われた。
「ああ、 眠り込んでいるのか。 もう、 時はきた。
人の子は罪びとの手に引き渡される。
立て、 出発しよう。 見よ、 裏切る者がきた。」
イエスが話しておられると

12弟子の一人のユダがやってきた。
祭司長や大勢の群衆たちも剣や棒を持って一緒にやってきた。「私がキスするの的那个人だ」
ユダはイエスに近寄り言った。「こんばんわ先生」。
イエスはユダに言われた。「友よ、なぜあなたは来たのか」。人々は近寄りイエスに手をかけて捕らえた。

27ab 私のイエスは捕らえられ

アリア(ソプラノ・アルト・合唱)

a こうして私のイエスは捕らえられた。

-放せ、やめろ、縛るな

月も光も悼み嘆く

私のイエスが捕らえられたので

-はなせ、やめろ、縛るな

彼らはイエスをつれて行き、縛った。

b 稲妻と雷鳴は雲の中に消え 合唱

稲妻と雷鳴は雲の中に消え

開け 深淵よ 地獄よ

壊せ、滅ぼせ、粉碎せよ

裏切る者を 人殺しを。

28 剣をおさめなさい 朗唱

その時、一人の者が剣を抜き、大祭司の手下に切りかかり、片方の耳を切り落とした。

イエスは言われた。

「剣をおさめなさい、剣をとるものは剣で滅ぼされる。

父にお願いできないと思っているのか。願えば12軍団以上の天使を今にも送ってくださるだろう。そうなるだろう。」

イエスは群衆にいわれた。

「まるで強盗するように剣や棒をもって捕らえに来たのか、私は毎日神殿の境内に座って教えていたのに、だれもとらえなかった。しかし、このことが起こったのは預言者の言葉が成就するためであった。」

弟子たちはイエスを捨てて逃げ去った。

29 おお人よ嘆け 汝が大いなる罪を コラール・合唱

おお人よ嘆け 汝が大いなる罪を

そのためキリストは父のもとから

この世に降りてこられた。

きよきやさしいおとめから

われらのためにこの世に生まれ

われらのとりなしをなされた。

死者に命を与え、病を癒し

定められた時が来るまで

わたしたちの犠牲となり、

重荷を負われた。

十字架にかけられたままながい間。